新京日日新聞
夕刊
一月十六日（火）
定價　一部 金三錢　一ヶ月 金八十錢
郵稅　一ヶ月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所　新京日日新聞社
發行人　十河榮忠
編輯人　松本　男
印刷人　谷　啓二郎

大同三年を迎へた滿洲國の財政

主計處長　松田令輔

三

以上により之等の諸問題の解決と大同三年との關聯如何か當然論議の中心となるてあろう、我等の言はんとする點は茲にあるのである、本年に於て我等は凡ての宿題を展回せしめ如何なる範圍、順序、方法、程度に於いて成果を收むへきてあろうか

第一、以上諸問題の何れも重大なる以上其の解決は巨額の經費の増加又は收入の喪失か豫想せらるる、然らは之を賄ふ財源如何、我滿洲國の歳入實績は常に當路者の意表に出つる好成績を示し建國年度に三、〇三九、三六五圓の剰餘金を出たし元年度も同しく二千萬圓に近き夫れを生する見込てある、又二年度の歳入豫算は前年度の豫算に比し經常歳入三割五分餘三千四百七十四萬餘圓の増收を見込みたるか年度中半に達せす既に豫算の半額に近き實收を擧けて居る、之に依て見れは歳入の源泉は年を累ねて躍進的發展を遂くへく年一千萬圓を下らさる増收は確實と言ふへきてあろう、茲に於てか我財政の計畫は暫く減稅に付ても事業に付ても常に原則として一般歳入の累増に歩調を合せて樹てらる可く、徐ろに事業を擇ひ漸次公債の財源に依ることを加ふへきと思ふ

第二、建國事業殊に國家經濟の據て以て立ち得る基礎的建設費かしかく簡單に本年度を以て完成すへきものてないことは「ローマは一日にてならす」と同樣てあろう當政者は少くとも建設期の第一年度として本年を迎へ、或種のものは一九三六年迄に、其他のものは更に五ケ年又は十ケ年繼續事業として計畫すへく、遠大なる國策は一ケ年度豫算の如きに跼蹐せす之を超越して繼續計畫として實現を期すへきてある

第三、如何なる方面も仔細に見れは諸般に亘つて必す多少の費用増加要求の存することとは實に無理からぬ事てある、建國の初頭に於ては言ふも更てあるい斯る際に於て財政上殊に戒愼すへきは平均的豫算増配政策を行ふ事てある、行き詰りたる乃至は中老財政の域に到達したる隣邦諸國と足並を揃へて行く必要は斷してない。我滿洲國は機体的必要の諸方面に萬遍なき手段を費して當政者をして徒らに奔命に疲れしめ結果に於て早老萎縮の小成人國として建つへからす、全力を大綱基本政策に集中して飽くまて重點主義の大旆を掲け宛も巨船の大洋を乘り切る勇姿のそれに似せて濃く太き一直線を大海原に殘して邁進すへく、從て過々近傍に低迷しつつある群小小舟があふりを喰つて一掃さるるも建國初頭には避け得へからさる最少の害惡として恕さるへきてあろう

乃ち謂ふ吾等は新に迎へたる大同三年に於ては忠實に此の態度を以て眞劍に上記諸問題に當らむとする者なるを（完）

日滿を中心に東亞大同團結へ

滿洲國外交界回顧

過ぎにし大同二年の春は山海關の日支軍衝突に明けた、歐米諸國の人氣を博し、その援助を得ようとして（ロンドン、タイムス）滿洲國の領土熱河へ熱河へと不敵にも押し寄せた支那正規軍、宋子文、張學良相携へて馬を陣頭に進めた、その姿今日何れにかある一は歐米に逃れ、一は親米政策の破綻に四苦八苦、而も執拗な彼等は尚も再擧をもくろんで種々陰險な劃策に狂奔してゐる、だが公明正大な皇軍の武士道的行動に北支停戰協定成つて、北支には明朗な空氣が漂ひ、中南支又內亂續發に困害して無暴抗日の非を身を以て悟るに至り、今や日滿兩國の叫ぶ東亞大同團結の訴へ「支那國民は聯盟若くは第三者に調停を依賴することは何等の效力無く寧ろ危險に陷り、外人の共同管理の禍を現出すべく將來支那は一境の領土すら見出し難くなるであらう、滿洲國の平和なる實情を正觀し支那國民の良心に訴へ東亞民族前途の幸福の爲め滿國と親善協和的態度に出でこの難問の解決に當られよ」（謝介石總長聲明）は事態發展の中に滿洲國外交の正しさを實證しつゝある

一方アジアの黎明を告ける滿洲國獨立てふ歴史的變革に舊世界の論理をもて遊んだ聯盟は獨逸の脱退となり、イタリーの聯盟改造案提出となつて、身自ら日本の離脱、日滿ブロックへの行進の必然性を實證しつゝある、眞に鄭總理の一週年記念日の宣言の如く「天は大任を友邦日本帝國に下し日本帝國をしてアジアの光明を全世界に普照せしめたのであつて、この聖業こそは地上區々たる人力の到底阻止し能はざる所である」斯くて日滿兩國の提携は益々固く生活共同体の認識にも脚して皇道九千萬民衆の共同福祉増進に邁進する姿は眞に天下の壯觀である

この間、武藤全權より菱刈全權への終始一貫せる日本の態度、滿洲國々礎、港灣の滿鐵委任經營契約、治外法權撤廢までの辨法、司法共助協定、電信事業の合辦調印、日滿博に於ける日滿實業懇談會、丁公使の活躍等々、日滿政治經濟ブロックへの力強い行進は續けられて滿洲には活潑な經濟活動が開始された

この情勢の發展につれて列國も旅券査證は門戶閉塞だ等と公明な滿洲國の門戶解放政策に何時迄もけちをつけてゐる樣なへまなまねはして居れず、本國政府の態度如何にかかはらず、今や滿洲國の建設に參加せんとする傾向極めて濃厚となつて來た、即ち滿洲國は特にブロンソン、リー並にエドワーズ氏をワシントン及びロンドンに派し、滿洲國の實情紹介に當らしめてゐるが、日佛對滿投資事業公司の成立を始め、獨逸の對滿經濟提携への希望、ベルギーのハルビン各領事の復活に見るベルギーの對滿投資活動、アメリカの對滿輸出増進等、滿洲國は世界不況の新生面を打開すべき唯一の對象として重大な關心を有たれるに至つた

唯不幸にして北の方蘇聯邦は北鐵問題を中心に數々の術策を弄して日滿兩國に嫌がらせをなしてゐるが、東亞全局の保全を念とする滿洲國は公理の前に何者をも恐れず、唯天の命ずる所に向つて一路世界の公道を濶歩するのみ、蘇聯の覇道外交も王道外交の前に兜を脱ぎ北鐵交渉の如き何れは極東全局を達觀して圓滿な政府的解決に導かれるであらうが、滿洲國外交新春の課題は蘇聯の革命外交と如何にして四つに組み合ふかにかゝつて來た

滿洲國金融の概況（七）

關東軍特務部　小池寛

此外に哈爾賓には中華民國の銀行である交通、中國の兩銀行が不換紙幣を發行してゐる發行と云ふよりは新貨幣法發布前に發行されてゐたものが殘つてゐると云ふべきである俗稱哈大洋と云ふもので、北滿では未だに相當通用してゐる、之も國幣との間に交換比率が法律で定められて居り五ケ年經てば通用が出來ないことになつてゐるのである、而して交通、中國とも信用のある銀行ではないのである、其貨幣も兌換は絕對にしない、然し長い間の習慣と兎に角貨幣としての役目を果して來たと云ふ信用で未だに國幣よりは多く用ひられて居ると云ふ狀態である、此等の點は滿洲人の通貨に對する考へ方を如實に示すもので貨幣は交換の仲立として役立てば之丈けで信用されるのであつて硬貨と兌換されると云ふ樣な點は考へてゐないのである

今世界の主な國が不換紙幣國になつたが、滿洲は古來不換紙幣國で此點では世界の先進國である

滿洲中央銀行が開店した昨年七月には國幣との法定比價に引き直して見て舊官銀號の發行に係る即ち學良治下に於て發行された紙幣は一億四千五百萬圓あつた、それが今日迄漸次回收され國幣に交換されて今では三分の二は回收されるに至つた、豫想以上の好成績と云ふべきである

四、將來の金融機構

滿洲國自体の金融機關としては現在發行券銀行として滿洲中央銀行があるのみで、見るべき商業銀行も不動產銀行もない、唯庶民金融機關として舊式の質屋が非常に發達して居る、新しい試としては昨年奉天省の復縣、陽縣の二縣に金融組合を始めた處、民情に適し居る爲め、好成績を示してゐるので今年は奉天省內に更に八縣他省にも一、二試ることになつた、之は大体朝鮮で非常に成功して居るので之を模範としてやつてゐるが、滿洲でも急速に發達し庶民金融機關として重要役割をなすものと考へられる

然し更に庶民金融機關に資金を供給し一般不動產資金鑛工業開發等の長期低利の資金を供給すべき一大銀行は必要缺くべからざるものである、それは朝鮮の殖產銀行の如き役割をなすものが適當であらう

新國家では金融機關の國營的色彩の强いことが必要である單に私利を目標とする私營銀行が亂立して競爭倒れをなし國民經濟に深く惡影響を及ぼした先進國の惡例は此新國家に及ばさしめたくないのである、安全にして統制ある金融機關を備へてこそ國家經濟も國民經濟も安固なるを得るは言ふまでもない（完）

襲爵御沙汰

【東京國通】畏き邊りでは十五日左の襲爵御沙汰あつた

故侯爵　小村欣一
家督相續人　小村　捷治

故伯爵　山本權兵衛
家督相續人從四位勳四等　山本　清

故伯爵　德川達孝
家督相續人　德川　宗敬

故子爵　上原勇作
家督相續人正五位　上原七之助

故子爵　三浦基次
家督相續人從五位　三浦　義次

定時叙位

正三位勳一等公爵　島津　忠重
正三位勳一等侯爵　朴　泳孝
敍從二位（各通）
海軍大將正四位勳一等功五級　小林　躋造
內閣書記官長勳二等　堀切善次郎
正四位勳三等功五級　子爵松平保男
敍從三位各通

關門隧道計畫實現に　鐵道省積極的に乘出す

【東京國通】鐵道省では十五日午前十一時次官、局長等を招致し、關門隧道計畫に關し審議を進めた、實現迄相當時日を要するが、鐵道省が本格的實現に向け乘出せるは事實で十年度以降四年乃至五個年繼續するものとして着手するものとみられてゐる

日滿悲曲　生命線を行く（六十七）

（築上演上映）國友雄吉　（荒川芳三郎畫）

離兵潰走す

もう〳〵と渦卷く煙りの中・廊下のまん中に人が斃れて居た。それを知らずに、士官は躓づいたのだ。

それは伸一であつた。

彼は監禁室から出て來て、其處に斃れたまゝ、刻々に迫つて來る窒死の運命の前に曝されてゐたのであつた。

士官の方では、それを、やはり支那兵の一人だらうと思つたのであつた。そして直ぐにそれを抱き起した。

「オイ、どうした?」

抱き起されて、わづかに人心地のついた伸一が、夢から醒めた時のやうに、ぼんやりと士官の顏を見た。それで士官は、初めてそれが同胞の一人であつたことに心付いた。

「君は、日本人か!」

士官の驚いた聲だつた。

伸一は次第に意識が、霧の晴れるやうに明かになつて來たことを覺つた。そして自分は、日本の軍人の手に依つて救はれたのであることに心付くと、歡喜と喜びとが、心の底から込み上げて來た。

「さうです! さうです。僕は、日本人です。支那兵のために監禁されてゐたものです——」

「此處は兵舍なんだが——支那兵はどうしたか。君は、知つて居ないか」

「支那の奴等——僕なんか、打棄つて置いて、皆逃げてしまひました——」

伸一は氣を張つて一生懸命に答へてゐるが、さうしてゐる中にも、だん〳〵息苦しくなつて來て、いまにも昏倒してしまひさうだつた。

「オイ! 誰か來い!」

士官は、片手に伸一のからだを支へながら高く叫んだ。

すると、聲に應じて二名の兵が、裏手の方からドヤ〳〵と廊下に現はれた。

「火は消えたか」

「消えました」

いつか、廊下に渦まいてゐた煙も、もう[illegible]つてゐた。

「おまへたち、この人を介抱して衛生隊の處へ連れて行くんだ。醫療のために監禁されてゐた日本人だ!」

さういつて說明しなければ、ちよつと判斷の付かないほど、汚れやつれた伸一の風貌は、日本人とも支那人とも極めて曖昧なのであつた。

兵士たちは、驚いたやうに、「はッ」といつて、銃を持つてゐない方の手を差伸べて、左右から伸一を助け起した。

「有難う〳〵」

伸一は、うわ言のやうに言つて、ふらつく足を踏みしめ〳〵、やつと、兵士たちの腕に支へられながら、士官に向つて感謝をこめて敬禮した。とたんに、涙で汚れた顏を、涙がホロ〳〵と流れた。

それから伸一が四五歩、足を踏んだ時であつた。一旦、外へ出かけやうとした士官が、又ツカ〳〵と立ち戻つて來て、思ひ出したやうに訊いた。

「念のため、君の姓名を聞いて置かう——何といふのかね」

士官は、ポケツトから手帳を出すと、ペンを取つて、伸一の答へを待つた。

「はい——僕は、氏家伸一——といふ者です」

「氏家——伸一——」と、士官は何心なくペンを動かしかけたが、不圖、そのペンを持つてゐた手が、ピタリと靜止してしまつた。そしてその兩眼は、鋭い注意を凝らして、ぢつと伸一の顏を見据えたのである。

そして突然、

「おう、さうだ。氏家伸一君——君だつたか——僕だよ。僕だ。何時か滿洲里から、汽車で一緒だつた僕だよ。あの時の千原龍夫だよ」

不思議のめぐり會ひを驚き、且つ喜ぶが如く、士官は、張り切つた聲で叫んだ。

「ひえッ!」

伸一は、思はず眼をみはつた。同時に、ヨロ〳〵と後向きに倒れてしまひさうだつた。兵士たちが、それを支へた。

米國政府が平價四割切下げを斷行
ル大統領特別教書を發行

【東京國通】米國政府の平價切下げに關し十五日三井物産入電に依れば米國政府は平價四割の切下げを斷行せんとする模樣で、右に關し大藏當局ではこれが斷行の曉は我對米爲替は三十七、八弗まで回復するであらうと觀測してゐる

ル大統領の教書內容

【ワシントン十五日發國通】ル大統領の議會に於ける特別教書の內容は左の如し

余は此處に議會に對し弗價の金純分を最低限度四割より最高限度六割迄切下げると共に國內貨幣用金全部を國有とすべきことを要請する。現下の國際情勢の不安定に鑑み弗價の金純分を嚴密に確定することは暫く見合せ將來に於ける弗價は其の時々に應じて決定さるべく、金分の量によつて保障せられるものとしたい

次に金は現在主として聯邦準備銀行に保有されてゐる三十五億弗の金を財務省に移管する權限を余に賦與すべきことを要請す。斯る立法は米國の金準備の所有權を政府自身の手中に歸せしめ且公共の利益のために行はれるべき弗貨の金純分は引下げの結果として生ずる國內保有金が生ずべき凡ゆる剩餘價値が政府の所有に歸するものなることを明瞭ならしむるものである、同時に將來公共の利益が逆に弗貨の金準備に引上げを要求するが如き場合は、これに起因する弗價値の下落に依つて生ずべき損失を政府の負擔とするは平等の正義と言ふべきであらう、通貨に對する金塊準備として國內貨幣用金の全部を政府の所有に歸せんとする上述の恒久的政策確立により弗の金價値を一層明確に決定すべき時機が到來するであらう

銀問題に就ては余はロンドン銀協定並に米國の貨幣政策の結果を充分に見極める必要があるので銀問題に關しては何等言及しないこととした、余は周密なる研究の結果現行の公定金純分を六割以上引下げることは公共の利益に反するとの結論を得るに至つた、依つて余は弗價の金純分引下げの最限度を六割とすることを議會に勸告せんとするものである、最後に平價切下によつて生ずべき利益を資本として、外國爲替市場に於ける金の賣買資金廿億弗を設置せんことを提議するものである

我對米貿易には大影響なし
大藏事務當局觀測

【東京國通】米國の新平價切下げに關する情報は未だ大藏省に公電無く、藏相は「見解の時期に非ず」として居るが事務當局は左の如き見解を有してゐる

米國が平價を切下げるとしても、英國との協定無くば其效果は望むことが出來ず又切下げと同時に金本位に復歸するものとは考へられないから、今俄かに大きな影響を受けることはあるまい、ル大統領の今回の平價切下げの意圖は、國內通貨政策によつて物價を吊上げる方向に轉じたものであるから、米國自体としては一般爲替の安定を求めて置いて內に於る極端なインフレ論者と、健全通貨論者との中間を執り依然金に立脚した通貨膨脹を圖り國內物價の昂騰を期待してゐるものと觀る可きだ、從つて日本への影響も現在より著しく圓爲替が暴騰するとは考へられず、寧ろ米國の平價切下げは弗自体の强材料ともなる點が多いから、對米輸出貿易も必ずしも悲觀するに當らない、遠い將來に亘る見透しとしては我國でも新平價切下問題も考慮されるが、應急的の處置として取上げる時期ではない

北鮮稅關設置近し

滿洲國稅關の北鮮羅津淸津設置問題は駐滿大使館、朝鮮總督府及び滿洲國政府の間に昨年來折衝が續けられてゐたが最初滿洲國側海港稅關進出に對し難色があつた朝鮮總督府側も日鮮滿港連絡の圓滑を期する見地より大體に於てこれを容認するに至り近く最後的決定を見ることゝもなつた、滿洲國政府では正式協定成立を待ち羅津、淸津稅關設置準備に着手する豫定で、兩稅關の設置と共に現在の圖們並に龍井村稅關は分離さることに決定してゐる

滿洲國 警察機構の充實

滿洲國の警察は民國當時の遺物其の儘のもので、舊時代の所謂國家觀念に乏しい名目丈けの警察にとゞまり其の機構に於て更に見るべき處はなかつたが建國に伴ふ從來の警察機關の大刷新は新國家の面目を一新するに至つた

國內の治安と財政の確立は新國家の重要な任務である關係上政府は直ちに特殊警察隊の編成に着手して國內治安機關の整備をなす一方斯くして國境、海邊、遊動の各任務に充當せしむる警察隊を配備することになつた

特殊警察隊の現狀左の如し

國境警察隊　瓦房店　安東　山海關　滿洲里　綏芬河　古北口
海邊警察隊　營口
遊動警察隊　新京　哈爾賓[illegible]
（大同二年九月黑河へ移駐）

新京は國都たる關係上、警察機關の完備を必要とする趣旨に基き首都警察廳を置き之を民政部に直屬せしめ市內及び長春縣下の警察事務に任せしめ又ハルビンは北滿に於ける外交上、交通上の要路に位するを以て、特に首都警察廳と同格のハルビン警察廳を設置して市內及附近の警察事務を掌らしむるに至つた

此の外國內主要都市には直隸する警察廳を設置し、都市の警察改善充實に務めた、また警察官の訓育教養には特に留意し舊時代は全國警察官約十一萬の中大半は目に一丁字なき警官であつたが、之が大刷新を企圖し建國後新京に中央警察學校を設けて民政部の直轄とし、滿洲國警察官最高の學校となし警察幹部をして入學せしめた、又地方には省を中心として之に直屬する各警察官練習所を設けて初任及現職の警察官に對して學術訓練の教育を授けつゝあり、漸次警官の素質向上に努力して來たが爲め、最近著しく其の效を奏しつゝある現狀である

建國以來の警察制度刷新並に改善の努力は其の機構に於て漸次形態を備ふるに至りたるも滿洲國特殊事情に鑑み、今後も一層改善改組に邁進する方針である

白眼視の列强にも「再認識の秋」
在奉各國要人の意見

【奉天國通】世界列强の轟々たる反對をも尻目に建國を宣言してより僅か二個年間にして滿洲國は健全なる『發展』の過程を辿り、獨立國の面目を押し來り今又民衆より擧げられたる帝政運動の烽火は遂に全滿を蔽ひ、日毎に熾烈の度を增し最早不可避の現狀に立到つた、之に對し今日迄白眼視し來つた列强も遂に再認識の餘儀なきに立到らしめた即ち在奉各國要人の意見を聽くに米國は滿洲國の發展は豫想外で承認は只時の問題であらう、英國は滿洲國帝政運動の擡頭は寧ろ當然でこの運動實現の曉は滿洲國は完全に獨立國としての步みを辿ることは明かだ、從つて承認、不承認は實質的には何等問題ではない、フランスは滿洲國が獨立國たり得るや否やは財政の確立、即ち幣制の改革統制にありと注視して來たが、中央銀行設立されて以來僅か一個年で數十種、否數百種の流通券は僅か一個年で統制され、各國赤字に苦んでゐる歲出入に獨り滿洲國のみは黑字を出してゐる今日、最早リツトン報告の金科玉條は問題でなく、經濟團の對滿投資は動かす事の出來ない現實で承認不承認は現在列國の輿論が解決するであらう、支那は獨立國として認めるか否かは面子の問題で現實は動かす事は出來ない、最初滿洲國は日本の力を借り河北迄進出するものと考へてゐるが『今日』ではそれは單なる杞憂に過ぎない事が漸次認識されるに至り、經濟的の滿支步み寄りがすべてを物語つてゐる

哈市の菱刈大將
日滿要人盛大な歡迎

【ハルビン國通】菱刈軍司令官は幕僚を隨へ大型旅客機M五〇三號で十五日午前十一時十五分來哈した、飛行場には廣瀨〇團長以下軍部並びに日滿要人多數出迎へ滿洲國側よりは樂隊が出動して盛大に歡迎した、これより先軍司令官一行は自動車を連ね嚴重な沿道の警戒の中を滿鐵理事公館に入り、十一時五十分より十二時迄約十分間に亘り日本記者團と會見した、軍司令官は飛行機で旅行すると一望千里景色はいいがこれを意味深長に四字か五字で歌にするといい文句は無いかと記者團に先づ矢を向けて語る

ハルビンに來たのは今回が最初だ、ハルビンは國際都市で各國人が多いようだがロシア人が多く殊にロシア人は交際すると大國民だけにいいだらう、わしもロシア人は好きだ、日露戰爭當時わしは參謀として居たが當時將校の防寒具は一般兵卒に知られて居なかつたで奉天でわしも危ふく擊殺されそうになつた、わしはロシア人に似て居るからロシア人には受けがいいだらうと思ふよ、滿洲國の治安方面に大掃除が濟んだが匪賊は未だ出沒してゐるやうだ、然し政治的意味の匪賊はもう居ない、諸君も時々新京見物に來たまへ」云々

民衆の負擔輕減
財政部で減稅計畫

財政部では全滿民衆の負擔輕減を目標に全滿稅制の確立に努めてゐるが、三月一日の大典に當り減稅を斷行するに決し、國民生活に最も關係ある鹽價値下げ並に統稅その他數稅目の減稅をなすべく調査を進めて居る

齋藤首相鈴木總裁の會見で 兩者精神的諒解成る
―十七日若槻總裁と會見―

【東京國通】齋藤首相と鈴木總裁の會見は午後一時十五分まで約一時間半に及び豫算問題、內政會議、選擧法改正等に關し懇談を行つたが、鈴木總裁は黨內に强硬論あるため本日の會見に於ては深入するを避け單に齋藤首相の意思はよく解つた、その旨黨の幹部に傳へるとの程度で打切つた然しながら兩者の間には相當精神的諒解が得られた模樣である、齋藤首相は十七日更に若槻總裁と會見し、又議會再開前西園寺公を訪問する筈である

會見後兩氏語る

齋藤首相

今日鈴木政友會總裁と共に食事をしたが何も纏つた話はなく四方山の話をしたに過ぎない、今議會に提案する豫算についても特別に諒解を求めることなどをしなかつた、內政會議については特別具體的の話はしなかつたが大體の經過を說明した、今後議會中にも折を見て續けて行きたいと思つてゐる旨をお話した、滿洲問題についても色々話が出たが滿洲國を健全に育て上げねばならんといふ事については政府ばかりでなく日本國民の誰もが異論のない處であると考へてゐる

鈴木總裁

齋藤首相から「今議會の再開も間近に迫るに至つたが何分の御援助を御願ひしたい、今回編成を見た豫算案及び政府の施設に對しては種々御不滿の點は多いことと思ふが御承知の樣な次第であるから御諒承願ひたい」との希望があり自分は諸種の問題につき意見を述べ、特に農村救濟策については今後適當の追加豫算を計上せられたいと述べた、總理の要請に對しては自分は黨の方針として定つてゐる是々非々主義であるから總理の言はれる意味は充分に解りましたと答へたが、助力しやうなどとは言はなかつた

會見內容中
秘密に附せられた重要諸點

【東京國通】齋藤首相、鈴木政友會總裁の會見內容中左の重要な諸點が秘密に附せられてゐるのが明らかとなつた

一、齋藤首相は最近軍部方面の思想傾向緩和され居る際今議會では軍部を刺戟するが如き質問は控へられたしと懇請し、鈴木總裁は御趣旨に添ふと述べ

一、鈴木總裁は刺戟、排擊と政黨政治復活に關し齋藤首相の意見を求め、首相は飽く迄議會政治に依るべきこと、現內閣は非常時に處す一時的、過渡的存在で非常時解消と同時に早く政黨政治に復歸することを希望すると言明した

一、鈴木總裁提示の國策に就ては財政の許す限り豫算に繰り込んだと齋藤首相より述べた

再開される北鐵交涉
ソ聯側提出の價格如何に懸る

【東京國通】北鐵交涉は滿洲國で逮捕中のソヴィエート側職員の釋放問題正式決定を待つて再開のことゝなつたが、交涉再開に對しては我國は

一、ソヴィエート側が從來のルーブル換算率問題の如き技術的且つ末葉的問題に膠着せず政治的考慮の下に大局的交涉を進めること

一、北鐵讓渡價格の問題の如きも現實の事情に則せる實際的な案を具して新規蒔直しの意氣を以て抽象的論議を避けて交涉の急速妥協を圖ること

の二點を必要條件として十五日の廣田ユレニエフ兩氏會見でも廣田外相より反覆强硬にソヴィエート側の考慮を促した、廣田外相としては交涉再開に對しては飽迄も善意斡旋者たる當初の方針を持續して滿ソ兩國折衝に側面的援助を與へる意向で萬一讓渡具体案に關し兩國の意見不一致、交涉が再び停頓に逢着するの危險ある場合には飽迄交涉の急速妥協を期して我國としての妥協案を提示し兩國の最後的考慮を促す模樣で、廣田外相の腹案では讓渡價格は紙幣圓による八千萬圓程度を適當として居る模樣で、此點に關しソ聯側が新にどんな價格を提示し來るかが交涉の成否を分つものとして注目されて居る

外相よりユ大使に通達
逮捕中のソ聯職員近く釋放の旨

【東京國通】廣田外相は滿洲國よりの目下逮捕中の北鐵ソ聯職員七名に關する司法事件は近く審理を終了釋放に決定せる旨通告を受け、十五日午後四時半外務省にユレニエフ大使の來訪を求め、此の旨を述べ更にソ聯側でも可及的速かに北鐵交涉を再開に努められたしと交涉の再開を促したのでユレニエフ大使は外相に斡旋を感謝し、交涉再開に異議なく、職員釋放の回答し更に種々意見の交換をなし七時半會見を終つた

安保大將勇退

【東京國通】長き選では十五日依願豫備役を仰つけられた安保淸種大將に對し御紋章づきの銀花瓶一對並びに酒肴料金一封御下賜の御沙汰あり、安保大將は午前十一時參內、天皇陛下に拜謁仰つけられ、現役中並びに恩賜御禮を言上、種々有難き御言葉を拜して御前を退下、更に皇后陛下、御機嫌を伺ひ奉り宮中を退出した

停年を俟たず勇退

安保大將は今年六十五歲で加藤寬治大將とは竹馬の友である、同大將はロンドン海軍會議には顧問として列席濱口內閣に海相となり、次で若槻內閣に歷任第一次海軍補充計畫を實施した、上海事件には樞密問使として働いたが、持病のリユーマチになやまされ、經過面白からず、遂に後進に途を讓るため停年を俟たずに勇退したものである

第二次市營住宅
市政公署の計畫成る

いくら建てゝも足りない新京の住宅難緩和に特別市政公署ではかねて對策考究中であるが、豫定通り來る四月より第二次市營住宅及び一大アパートの建築に着手することになつた、右市營住宅は從來のものと同型で、同住宅地附近に新築され戶數百二十戶、費用三十萬圓であると、尙アパートは七馬路に新築される豫定で、費用は二十萬圓である

辭表を提出した法政大學教授結束陳情

【東京國通】法政大學辭表提出の教授三十名は午前十時佛教青年會館に會合し善後策を協議し左の申合せをなした

一、結束を鞏固にし委員を擧げて文部省へ陳情する
一、學生の父兄へ經過を報告する

四中全會議難なく乘切らん

【福建十五日發國通】中央軍の福建討伐成功は根底的に動搖せんとしてゐた南京政府の基礎を間一髮に安定せしめると同時に政府部內に於ける蔣介石、汪精衞兩氏の合作を建直し得た、即ち福建政府の崩壞は孫科、宋子文其他西南派の汪、蔣ブロック破壞策謀を封じた譯で當分汪蔣の合作は順調に持續されることゝなつた、從つて來る二十日開會豫定の四中全會議も豫想された波瀾なく乘切り得るものと觀測されるに至つた

十九路軍敗退の報に 廣東軍三個師出動

【廣東十五日發國通】福建に於ける十九路軍敗退の報に接した廣東の實權者陳濟棠は廣東軍三個師を閩南一帶の地に增派するに決した、右は十九路軍の敗殘部隊が廣東省內に流入するのを阻止するのが目的であると稱して居るが實は廣東側としては元來福建に於ける十九路軍勢力の强大を喜ばない一方完全な消滅をも願はず一地方的勢力として閩南地方に留め置き中央勢力との緩衝地帶を構成することが最も望ましいところであるとして居るので、十九路軍の全滅を救はんとする意圖に出たものと觀られて居る

李濟深等大邱丸で香港へ

【福州十五日發國通】李濟深除心淸等人民政府要人等は昨十四日朝大阪商船大邱丸で廈門經由香港に向つた、福州は戰禍を見ずして平穩裡に中央海軍に接收されたが、前線にあつた十九路軍の撤退も着々進行しつつあり蔡廷楷は兵の閩南移動を速やかならしめるため總商會を通じ中央軍艦にある薩鎭冰に對し渡河用船舶二十隻の借用を求め閩江上流の渡河を開始した、二、三日中に撤退完了の見込みである

陳銘樞、蔡廷楷等飛行機で泉州に向ふ

【廈門十四日發國通】十三日陳銘樞、蔡廷楷等は福州から飛行機で泉州に飛んだが今回の戰鬪で十九路軍の損失は譚啓秀の全部隊は殆んど全滅し沈光漢部隊、區壽年部隊が半減、毛維壽、張炎兩部隊は殆んど一兵を損ぜなかつた模樣である

英米海軍陸戰隊の上陸で 福建在留外人安堵

【福州十五日發國通】十四日英國海軍陸戰隊約五十名及米國海軍陸戰隊三十名が福州に上陸した、引續き軍艦の增援をまつて陸戰部隊の增加をみる豫定であり、不安に脅されて居た外人居留氏は非常に喜んで居る

人事往來

▲須藤少佐（兵器廠）十五日午後三時二十五分着哈市から
▲吳會澤氏（外交部總務司）十五日午後五時二十分發大連へ
▲林大佐（偵察隊々長）十五日奉天から
▲カウフマ氏（ザリヤ紙主筆）十六日午前七時着上海から午前八時三十分發哈市へ
▲藏式毅氏（民政部總長）十六日午前九時發奉天へ
▲孫其昌氏（黑龍江省長）同上遼陽へ

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

品目	相場
倫敦銀塊	一九片一六分ノ一
同　先限	一九片四分三
孟買銀塊	五五留比一六分三
紐育銀塊	四五仙〇〇
米英爲替	五弗一五仙四分三
米日爲替	三〇弗七五仙
米支爲替	三三弗二分一
スチール株	[illegible]
アナゴンダ株	[illegible]

▲米市俄古小麥

限月	相場
現物	[illegible]
一月限	[illegible]
三月限	[illegible]
五月限	[illegible]
七月限	[illegible]
九月限	[illegible]
十一月限	[illegible]
五月限	[illegible]
七月限	[illegible]
九月限	[illegible]

▲印棉

品目	相場
ブローチ	一九〇留比
オームラ	二〇一留比
ベンゴール	一六五留比

▲上海標金

項目	相場
昨止	[illegible]
高値	[illegible]
安値	[illegible]
本寄	[illegible]
步值	[illegible]

▲上海日本向

回	相場
第一回	[illegible]
第二回	[illegible]
第三回	[illegible]

▲上海倫敦向

項目	相場
買値	一志四片一六分五
賣値	一志四片八分三

▲上海紐育向

項目	相場
買値	[illegible]
賣値	[illegible]

▲大連金鈔票

項目	相場
現物	[illegible]
寄付	[illegible]
步値	[illegible]
出來不申	

▲大連上海向

項目	相場
引止	[illegible]
高値	[illegible]
安値	[illegible]
出來高	[illegible]

▲大連煙台向 [illegible]

▲阪神日米爲替

回	相場
第一回	[illegible]

▲阪神日英爲替

項目	相場
賣値	一志二片四分一
買値	一志二片一六分五

各地市場

▲大阪株式

銘柄	前場	後場
大株	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]

▲同短期

銘柄	前場	後場
大新	[illegible]	未着
鐘新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

▲大連株式

銘柄	前場	後場
品先	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]

▲大阪三品

限月	前場	後場
當限	[illegible]	[illegible]

▲大阪棉花

限月	前場	後場
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲大阪期米

限月	前場	後場
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲仁川期米

限月	前場	後場
當限	[illegible]	未着
中限	[illegible]	
先限	[illegible]	

▲橫濱生糸

限月	前場	後場
當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲神戶豆粕

限月	前場	後場
現物	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]
當限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]

▲カルカツタ麻袋 [illegible]
青筋 [illegible]
麻袋爲替 [illegible]

▲大連特產

●混合保管大豆

限月	寄	引
現物	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
出來高	[illegible]	三五枚

●豆粕

限月	寄	引
袋込	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]

●豆油

限月	寄	引
現物	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]

●高粱

限月	寄	引
現物	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]

●[illegible]

限月	寄	引
現物	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]

新京市況

品目	現物
特產大豆	[illegible]
高粱	[illegible]
包米	[illegible]
小豆	[illegible]
錢鈔	[illegible]
鈔票對金票	[illegible]
現大洋對金票	[illegible]
哈爾濱大洋對鈔票	[illegible]
現大洋對鈔票	[illegible]

滿洲國新憲法の制定實施は來年か
趙博士を中心に愼重研究

滿洲國々是を永久に規定する滿洲國憲法の制定に關しては滿洲國立法院長たる趙欣伯博士の手によつて考究中で、既に日本側の權威者方面とも打合せを續けてゐるが、滿洲國の大法典たる關係上なほ充分の研究を要するので、實施期は來年となる見込みである

溥儀皇帝推戴要望 外蒙にまで遍し
各民族の嘆願書續々殺到

【ハイラル國通】建國以來の仁政普恩に感泣した全滿三千萬民衆を擧げて溥執政を皇帝に推戴せんとする民衆の總意は今や興安嶺を越へて遙かホロンバイル外蒙等の邊境の隅々迄も遍く波及し新春を迎ふるや各民族の熱意を一丸とする嘆願書は北分省公署目がけて殺到しつゝあつたが、數日來當地凌省長は滿蒙各民族の神聖なる之等民衆の誠意を中央に傳達すべく各旗、各縣別に之を取纏め旗長、縣長をして之を代表せしめたもの十一通(滿人六、蒙古人二、其他三)を携へ去る十一日當地發列車で赴京し、之と同時にハイラル特別市各民族の嘆願書も省長と同行の李相廷特別市長により中央に手交されたが白熱せる滿蒙民衆はこれ等民意具現の一日も早からんことを喜色の中に待望して居る

水も漏さぬ警備方針なる

三月一日前後の警備方法に就ては去る十一日警務司で開催された連絡會議を皮切りに滿洲國側警備機關に於て寄々協議中であつたが既に大体の警備方針の決定を見た模樣である、即ち首都警察廳は管下警察官を總動員し之を中心に奉天、吉林、ハルビン警察廳、游動警察隊、國境警察隊の警察官を遲くも二月下旬迄に新京に召集し合計二千名を以て水も漏るぬ警備を行ふ事となつた

溥儀氏推戴運動に
感激する肅恭兩親王家

【大連國通】滿洲國三千萬民衆の間に燎原の火の如く燃へ上つた溥執政を至高至尊の最位に推戴せんとする國民運動に深く感激し、一陽來復を待望してゐる兩親王家大連市聖德街五丁目の肅親王、市外黑石礁の恭親王兩家にも今回の國民運動に依つて將來の繁榮が約束され、昨今兩家は春風蕩の裡に愼しみ深く成行きを靜觀してゐる

鄭總理の訪日 執政師傅招聘延期さる

【東京國通】鄭國務總理は陽春四月頃滿洲國を代表して日本を訪問する豫定であつたが都合により延期と決定、また執政師傅として清浦伯、林權助男等の元老招聘も延期せらるゝこととなつた

鄕里へ歸る 苦力が殖えて來た
今年に入つて千九百人

普通の人間社會より隔離されたかの如き別社會に馬車馬の如くに酷使されながらも一言の不平をもらさず

＝默々＝ として働くもやはり人の子親を思ひ妻子を思ふ心は人一倍で一年中を汗と油で稼いで得た金を懷中にして年に一度鄕里を訪ふ正月が彼等にとつては何よりの樂しみである、目下新京を中心に働く數萬の苦力中その大部分は山東方面のものであるが待たれた舊正月が近づいてきたので最近歸鄕する苦力の動きが漸次多くなり新京驛前ジャパンツーリストビユーローの本年に入つてから十五日までの團体扱ひだけでも十五團体千九百四人でこれに驛扱ひおよび個人を加へれば二千五、六百には達してゐるとみられ毎年團体だけが七、八千人はあるので本月一ぱいにはまだ五、六千人の動きはあると

＝豫想＝ されこれらのものが新京驛で切符にかへる金が一ヶ月の間にざつと五萬七八千圓であるから驛としては最も大切な顧客である

清津、新京間 無電良好

敦化清津間の無電連絡成績良好なるに鑑み、更に新京清津

京圖線は けふ中に復舊

既報京圖線大道河、樺樹林間で上り第八百十二混合列車脱線轉覆事故のため十五日第五十二列車は一時間程遲着したが十六日中に復舊工事を終り十七日午前六時三十分發第五十一列車から通常通り開通の見込み

犯罪防止策に
苦力に證票を與ふ 首都警察廳司法科の劃期的の試みとして實施

從來殺人、强盜、人質拉致等の强力犯罪を犯すものは主として勞働階級であるから

＝之等＝ の犯人を檢擧し又は犯罪を未然に防ぐにはどうしても勞働者階級の身元を明かにしておくことが重要であるが中々異動の頻繁なる十數萬の苦力の身元を一々取調べることは中々容易のことではない昨年末以來二、三回一齊に之が取締をやつて同行したるものは五百名以上にも達した之に依り可成收穫もあつたが中には確實な雇主のあるもの又は生業のあるものもあつて之等の連中並に雇主に對しては甚だ迷惑千萬である處から色々研究した結果今回首都警察廳令で勞働者登錄章程なるものを發布した之に依つて近く勞働者の雇主を召集して此の趣旨を能く訓示徹底せしめ確實なる雇主のある勞働者は首都警察廳に出頭せしめ寫眞と指紋を採り本人の寫眞を貼布したる一定の證票を交付することにした、之は實に劃期的の事業で相手は勞働者であるから一切之に要する費用は

＝負擔＝ せしめず凡て官廳でやるのであるから中々費用と人員を要するが全く英斷である

一齊檢索で
良民に迷惑を掛けぬため 立案の今江警正語る

之に就き司法科今江警正は語る

社會の公安を保持する爲めに個人が幾分の迷惑を受くることは社會連帶の觀念上止むを得ぬことではあるが警察としては成るべく少數の不良者の

＝發見＝ の爲めに多數の良民に迷惑をかけることは心苦しいから此方法を斷行したのである、此方法に依れば身元確實な勞働者には一定の證票を持たせるが、不確實な所謂浮浪者には證票を交付しないから一齊檢索などの場合には警察官が街頭に於て其良否を判斷することが出來るから良民に迷惑を及ぼさずして容疑者を發見することが出來るのであるし一面又勞働者も誰か一定の確實な雇主を持たなければならんことになる、從つて怠惰なるものに對しては誰も連署するものがないから自然陶汰せられる事になるので勞働者が一定の雇主の許に精勵する一つの奬勵の方法にもなるし又從來雇主が雇人に持逃げせられたり又は詐欺の被害にかゝつたりする樣な犯罪を豫防することも出來るから官民共に頗る都合の良い方法だと思ふ、希くは勞働者を使用せらるゝ各位も當局の苦心を御諒察下さつて此目的の

＝達成＝ に十分御援助下さる樣に希望する次第である

斤量の不足
何としてもおかしい 組合と警察で調査

新京石炭商組合の石炭斤量不足事件に關し、新京署では事件を重大視し檢査後直に責任者である黑木氏を召致し嚴重取調を行つたが不正がなへんにあるかは判明せず取敢へず不足量は追徵することにした同署では引續き貯炭場現場に松澤警部補を派遣し同組合の斤量その他事務內容につき徹底的調査を行ふことになつた、が組合側としては餘りにも斤量不足が甚しいので不審を抱いてゐる

寒さは――これから
今年は四溫が少い

新京における十四日の溫度は零下二十七度四でこの冬の最低溫度を示し一月に入つてからの平均溫度は零下二十度三で二十度以內の日は一日もなく觀測所新京支所創立以來の一月の平均溫度零下十七度三よりも三度低く寒さもいよいよ本格的となつたわけであるが宍戶支所長の話によるとほんとの寒さは一月から二月の上旬までで本年は大陸方面の高氣壓にあまり移動がなく、よしあつてもすぐ後から高氣壓が來襲してゐるので四溫と思はれる日がなく今のところ高氣壓が移動する模樣がないのでこの寒さはこゝ當分續くもの觀測されてゐる新京における既往五ヶ年間の最低溫度をみると

昭和四年一月三十一日が二十九度▲同五年一月三日二十九度九▲同六年一月十日三十五度▲同七年二月十八日二十六度六▲同八年一月十一日二十八度四

で冬の最低溫度は七年を除く外は全部一月となつてをり更に南はパラオから北は樺太の安別および新京に至る東京中央氣象台關係の百三十五測候所所在地で昨年十二月中の最低溫度は(括弧內は十二月中の平均)朝鮮の中江鎭で二十八度一(十一度)それに次いで奉天二十六度九(九度)樺太敷香二十四度三(九度二)新京二十三度六(十一度六)新義州二十三度一(四度六)で平均では全國で新京が一番寒いことゝなつてゐる、尙南洋パラオの十二月中最低溫度は廿四度一で新京の夏季七月の平均溫度よりずつと溫いといふ所謂常夏の狀態である

街の日記

料亭ひとすじ 仲々好評

花柳街三笠町お馴染のキャバタルの裏、靜な所に此程出來た料亭「ひとすじ」開業早々よりサービス滿點とあり頗る好評、一見すると靜な座敷、明らかな御連中位選りの事とて先御紹介せば「吉彌、好の花」と言つた角力さんに似た姐さんを初め愛吉、日の丸なんて代表的豪傑より町奴伴がらか權八、紅香、桃太郞等々言つた顏ぶれ近日更に內地より數名の新妓、奇麗どころ到着とあり女將を初め仲居連共も御親切の方揃ひ「ひとすじ」の名にふさわしく勉强するとの事以上紹介して置く

落しもの

▲東二條通九番地佐藤倉三氏は十四日午後七時三十分ごろ東一條通と日本橋の交叉點で三ツ折皮製財布一個在中現金百廿七圓余を落した

▲日本橋通八番地中家氏內吉澤彦四郞氏は十五日午後六時ごろ吉野町二丁目から自宅に歸る途中皮製蟇口一個在中現金二十二圓小爲替五十圓受領證を落した

▲永樂町三丁目二十六番地武智千鶴さんは十五日午後六時ごろ錦町三丁目から自宅に歸る途中客馬車上に風呂敷包一個在中モスリン一反手紙一通を落した

▲日本橋通四十九番地滿洲電氣商會兒玉肇氏は十五日午後六時十分ごろ自宅から驛に行き客馬車から下車の際車上にオーバー一着時價二十圓を置き忘れた

盜難屆

▲室町二丁目二十七番地高桂森氏所有自轉車一台を入船町四丁目三番地先路上で十六日午前六時頃窃取された

▲東二條通五二番地吉澤英三郞氏所有自轉車一台時價二十圓を十六日午前三時ごろ窃取された

▲祝町三丁目三番地京圖務內宮元善助氏は十四日午後十一時ごろ同家で防寒靴、テーブル掛一枚を窃取された

皆既蝕觀測隊

【東京國通】二月十五日の皆既蝕觀測のため東京天文臺早乙女臺長以下の學者三十餘名記者七名は午後三時海軍省提供の海防艦「春日」に乘艦し南洋群島ロウソツプオルロコツプ島へ出發した、一行中には米佛政府特派の學者三名も參加してゐる

四萬圓橫領逃走
米國モータース使用人

【大連國通】新京日本橋通りユナイテツト・ステート・モータース新京支店使用人岸本重信は昨年十一月十六日一萬一千三百八十圓を橫領したのを手始めに前後五回に亘り合計金四萬三千三十圓を橫領、大連に逃走したこと發覺、同社代表者市內山城町三十二番五泉賢三氏より取押へ方を願ひ出た、又奉天千代田通り同社支店使用人田村淺次郞も前後二回に亘り一萬數千圓を橫領し同樣告訴された、尙聯璧汽車公司はイギリス系資本の自動車會社である

苦力の給料一萬餘圓を 橫領逐電

【ハルビン國通】土木請負業長谷川組下請人中尾兄弟は呼海線松鎭驛方面の工事を引受け、昨年六月頃より工事に着手し同十二月過工事を完了したが、使用した苦力百餘名に對する一萬三千二百五十三圓七十五錢五厘と云ふ給料を支拂はず、大連に引き揚げて了つたので、苦力の代表十一名は之が受理方を日本領事館に願ひ出たので、日本官憲は直ちに大連に手配を行つた

維新の志士 坂本、中岡の 銅像除幕式擧行

【京都國通】慶應三年十一月十五日京都河原町大宮で兇刃に倒れた明治維新の志士坂本龍馬、中岡愼太郞の銅像は京都丸山公園に建てられ十五日その除幕式が擧行された

軍神橘中佐銅像を 鞍山に設立決定

【奉天國通】かねてより長崎縣人を中心として橘中佐の銅像建立計畫がたてられ昭和製鋼所富永常務を中心に運動中であつたが最近具体化し日滿要人に寄附を仰ぐこととなつたが銅像は地上約四十尺肖像一丈五尺、總工費四萬圓である、設置場所は種々の關係上大体鞍山に決定を見た模樣である

學位事件 不起訴と決定

【長崎國通】學位事件の元長崎醫大教授淺田一、赤松宗二兩氏と開業醫馬場崎護、原口英良博士は不起訴と決定した

大相撲四日目 勝負

【東京國通】東京大相撲春場所四日目勝負

勝		負
磐石	高無双	若瀨川
太刀若	寄り切り	小野錦
銚子灘	突き倒し	巴潟
土州山	外掛け	九州山
外ヶ濱	はたき込み	射水川
海光山	腰くだけ	和歌島
番神山	突き出し	綾昇
松前山	うつちやり	出羽ノ花
鏡岩	おくり出し	出羽嶽
綾櫻	押し切り	太郞山
筑波嶺	つり出し	鳧ノ浦
大浪	押し切り	旭川
幡瀨川	つき落し	大邱山
新海	掛けもたれ	古賀浦
能代潟	寄り倒し	双葉山
男女川	きめ倒し	寶川
武藏山	上手投げ	大潮
清水川	寄り倒し	錦華山

打出し五時廿八分

輸入組合の一等當選
食道樂青柳の板場さん けふ組合事務所は押すな〳〵

當つたり、當つたり、大當り五圓の買物で千圓の景品とは天下の福の神を一人で抱き込んだやう……新京輸入組合の年末蕃騰一日から月末までの年末賣り出しで抽籤券附きで大賣出しをはじめ五圓の

＝買物＝ で千圓を物にしやうといふので人氣は全新京をゆるがしてゐたが去る十日抽籤を行つて翌十一日、本紙十二日附夕刊で一等から三等までの當籤番號を逸早く報導したが人氣はいやが上に湧きたち一等の問合せがいまにもあるかと待たれてゐたがとう〳〵十六日組合加入商店で發表されたのをしほに午前八時から續々と抽籤券をポケツトにして事務所の開かれるのを寒風に吹かれながら待つてゐる、やがて午前九時にドアーが開けられたら一度にどつと十餘名が押寄せ、續いて後から〳〵と押かけて來る、十時になつてもまだ大物が出ない正午に十分前出た〳〵、惠比壽顏をした男、時組合事務所の內外を問はず

＝一度＝ にどつと歡聲が上つた

この御本人は祝町三丁目食道樂青柳內田中止夫氏で押すな〳〵のうちに雲がくれしてすがたを消してしまつた、續いて二等當選者が一人出た、これは八島通中島國尾氏である、まだ一等の千圓口が二人(一組不買)二等三人ある筈だが正午までには大物はこの二人でまだ出ない、人氣はいよ〳〵これからでこゝ二、三日は見ものであらう

美味しい御米の御用は 千印へ 新京祝町五丁目四 千葉商店 精米部 電話二四三二番

一等から五等迄の當選番號

なほ重ねて一等から五等までの當選番號を次に示せば

一等　九二五四
二等　一一〇八六
三等　四九二一九
同　一〇六三九
同　一〇六三九
四等　七三一
同　二七一五
同　七四一三
同　一三八六八
五等　一四八三
同　三一一七
同　三一八二
同　四〇五九
同　八〇八四
同　八〇八八
同　八三一七
同　一〇三九六
同　一二一六二
同　一二八四一

以下省略詳細は三笠町一丁目輸入組合事務所(電二六〇五)に問合せられたい

鐵路總局で 全滿自動車網を擴大

【大連國通】鐵路總局では滿洲國側からの委託により乘合自動車網の開設を行ふ事となり、その皮切りとして朝陽、赤峰間の本營業及び敦化、海林間赤峰、承德間の假營業は旣に昨年末より開始されてゐるが、愈よ其他の各線も引續いて實施期に入る事となつた主要線及び營業開始期左の如し

一、朝陽、赤峰間(旣設)
一、赤峰、承德間(一月十五日)
一、ハルビン、同江間(一月十五日)
一、安東、城子疃間(一月十五日)
一、山城鎭、通化間(一月二十日)
一、敦化、海林間(一月二十日)
一、新京、扶餘間(三月一日)
一、訥河、墨河間(三月一日)
一、奉天、撫順間(三月一日)
一、新京、吉林間(三月一日)
一、洮南、索林間(三月一日)

其他の區間については追つて路線選定の上開設の筈である

けふの銀相場

鈔票對金票　一三〇・五〇
現大洋對金票　一二四・四〇
國幣對金票　一二四・四〇
現大洋對鈔票　九五・〇〇

慶安異聞 艶魔地獄

(舞臺上演 映畫化) 玉水三郎 (畫)長谷川小信

(百四十六)

葉櫻の宮 (二)

「お八重の事なら、私の方から聞かうかと思つて、實は今もお蔦やお花と、お前さん、尋ねに行かうと思つてゐた所ですが、お八重は四日前の晩方、お前さんの處へ行くと云つて出たきりですよ」

三吉町のお米は、狼狽て斯う言つた。

小島三平はギヨツとして、瞳を瞠らせながら、

「何ですつて内儀さん。お八重があの方へ……四日前……成程そりや歸りました。歸りましたけど、半時許りで歸りましたに。あの晩その儘歸りませんか」

「あの晩にもこの晩にも、夫切りなんで、直ぐ翌日尋ねに行かうと思つたけれど、お前さんは物堅い人なり、お八重は几帳面の女なり、歸らないのは多分急病でゝもあらう……それに私や言ひたくはないが、少し許りあの子の爲には金を貸してある。それを思つて一晩歸らないと、直ぐ心配して尋ねて行くのも、あんまり薄情な事と思つて、實は遠慮してゐたんですよ」

「ヘエー、之は奇妙な事があるもんですね。コリヤ途中で……何か間違ひがあつたんぢやありますまいかね」

「さうですよ、三平さん。コリヤたゞ事ぢやない。屹度何事かあつたんですよ」

「と言つて四日も經つて後、何處へ聞く所もありませんし……」

「お八重は人に恨みを受けるやうな女ではなし。コリヤ不意に惡漢に出會ひでもして、攫はれでもしたものぢやあるまいか」

三平は腕を組んで考へてゐたが、膝を打つて、

「オヽ一つ心當りがあります。早速其の方を……」

「エッ、心當りとは……」

「私方へ來ました前の晩、歸つた所なんです」

「オヽ前の晩は、月代のお瀧さんの兄さんの家へ……」

「さうでございます。貴女からお小遣ひまで澤山頂いて、遊びに出して頂いたと、當人も喜んで居りましたが、あのお瀧の兄が……オヽ少し判つて來ました」

「ナニ、お瀧の兄……」

二人はそれから額を突合せて、頻りに秘密話をしてゐた。

お蔦とお花は、それと知つて遠慮して、立てた葭簀の蔭へ廻つた。

十松は頑是なさに、我叔母の身の一大事とは知る由もなく、三吉町を出て列んだ茶店の前を、チヨコ〳〵行つたり來たりしてゐた。

月代の店には、お瀧がそれを眺めて見てゐたが、十松の我店の前に來るのを見て、

「オヽ可愛い兒だねえ。坊やお前はお八重さんの甥だらう」

甥といふ事が、十松に解し得られなかつたので、唯お瀧の顔をじろ〳〵と見るのみであつた。

「オホヽヽヽ、判らないかい。坊やの叔母さんだらう。向ふの三吉町にゐるお八重さんは……」

十松は無邪氣に、

「叔母さんぢやないや、嬢さんだよ」

「オホヽヽヽ、さうね。コリヤ私が惡かつた。嬢さん〳〵……今日は嬢さんの所へ、お父さんと一緒に來たのかい」

「アヽ、だけど嬢さんゐないよ」

一月十七日 水曜 舊十二月三日 戊子 友引 閉 箕宿

●一白の人 取越苦勞せず香氣に郊外散策など適當なり 巳と庚と癸が吉
●二黒の人 運氣旺盛にて願望成就する日開店營請等吉 丙と庚と辛が吉
●三碧の人 凶事誘發の日手心を加へて穩便に謀れば吉 庚と癸と寅が吉
●四緑の人 物事行詰りを生じ逆戻りの仕儀となるべし 申と癸と寅が吉
●五黄の人 自責の念を强め眞面目に處理せば同情加る 乙と庚と亥が吉
●六白の人 名利大に行はれ發達の喜びある日迷心注意 丁と亥と寅が吉
●七赤の人 氣は焦れど自制するが安全進むも勞苦多し 乙と丙と寅が吉
●八白の人 運途至極佳良なる日開店新築轉宅金談等吉 丁と庚と亥が吉
●九紫の人 燒屈功なきのみならず意外の失敗を招かん 甲と丁と庚が吉

新京日日新聞
發行所 新京日日新聞社

待たる盛儀近づく

宮様の御來滿 今秋になる御模様 執政渡日の御答禮として

鄭總理の赴日延期の結果、鄭總理より、來る三月一日の式典に日本帝國天皇陛下の御名代宮樣として、皇族御一方御參列言上の豫定も變更されたので、執政の渡日が六月となり、日本からは、その御答禮として皇族方が秋季御來滿になる御模樣である

國債總額 七十八億

〔東京國通〕昨年十二月末現在國債總額七十八億二千百二十七萬圓で、之が內譯は（單位千圓）

內國債	六、四〇〇、〇八〇
前年同期	五、一八〇、四三一
外國債	一、四三一、二一〇
前年同期	一、三九八、二四六
合計	七、八二一、三七〇
昨年同期	六、五四八、六七八

師傅推薦に種々なる難點

〔東京國通〕廣田外相は溥執政の師傅問題で、軍部其他と協議の結果我國より今派遣すれば無益な國際疑惑を生ずる他、許滿大使と對立する故辭退するが良いとの結論を得た、從つて帝國政府は正式提議ありとも推薦するかどうか疑問視されてゐる

日本訪問の執政隨行 顏觸の主なるもの

六月下旬溥執政が日本を訪問されることは愈よ確實とされ隨行者も近く渡日主務の手に依つて愼重に詮衡選定される筈であるが大体左の人々が隨行するものと見られてゐる

侍從武官長 張海鵬
侍從武官 石丸[illegible]磨
執政府警衞處長 佟濟煦
警衞官 工藤忠
溥忠[illegible]
[illegible]圓
秘書處長 胡嗣瑗
その他警備關係の首腦並に外交部方面から選拔される筈

國際危局を目標の新國策の大綱 建國宣言の趣旨を尊重

來る三月一日の大盛典に當つて一大飛躍を示す滿洲國は政治、外交、經濟等あらゆる方面に國力伸長の國策を遂行して來るべき一九三六年の國際危局を目標に前整備を期してゐるが國策の大綱は建國宣言の趣旨を飽くまで尊重し大体左の如き方針を以て內外に臨むことゝなつた

▲內政
一、暗黑政治を排除し法律を改良し地方自治を遂行し廣く人材を修めて顯秀を登用す
一、實業を獎勵し金融の統一を圖り富源の開發を莵す
一、匪禍を釐正し治安の確保を期す
一、教育の普及を圖り禮敎を尊ぶの念を涵養し王道主義の徹底を期す

▲外交
一、信義を尊重し和睦親善の主義に基き國際平和の完全を期す
一、國際間の信義を尊重し國際法規及び慣例を尊守す
一、外國人の既得權利を尊重しその生命財產を保護す
一、外國との通商貿易の圓滑促進に努め世界經濟の發展を圖る
一、門戶開放主義を嚴守し外國人の滿洲國に於ける經濟活動に對して便宜を與ふ

尙右國策の大綱は三月一日の一典直後中外に宣布される筈

新國是の發表 廿一、二日頃の豫定

滿洲國某重大國策は着々進捗し籌備委員會は六部に分れて準備萬端遺漏なきを期し連日二、三回究會議を開き日滿兩語の通譯を煩しつゝ會議を續けてゐるが凡て重大國策の大綱は決定し、只國策遂行上の手續きや實行上の細部の研究を殘すのみで、來る廿日頃までには各部共議事討議を終り廿一、二日頃中外に向つて聲明と共に發表される豫定で今や三千萬民衆はこの重大國策發表の日を一日千秋の思ひで待ち焦れてゐる

松竹ニュース頻りに大活躍 各地の實況を撮影

滿洲國某重大國策發表の日が切迫するにつれて、映畫會社のニュース撮影許可願は毎日民政部警務司に屆出られてゐるが新京に支部をおく松竹ニュース班では既に十五日來活躍を始め遠藤總長の內示發表の場面各地の皇帝推戴運動の實況、國務院の乘用車輛[illegible]の實況を撮影し既に第一報は十六日、內地松竹本社に送られたが「松竹の眼の新聞」として吾等の前に公開するのも遠くはないであらう

閻奉天市長離京

帝政を翹望する奉天市民を代表して入京せる閻市長は十六日午前十一時國務院に鄭總理を訪問、帝政實現の請願書を提出し、午後四時半發列車で歸奉の途についたが、出發前語る

奉天市民の帝政要望は即ち天の聲に應じたものであり鄭總理も市民の赤誠に感謝して喜ばれた、御英邁に亘らせられる溥執政が帝位に即かれることは、取りも直さず滿洲國の威威を中外に宣揚することであり一日も速かにその實現を望んでやまない

地方行政刷新 吉林省參事官會議

〔吉林國通〕滿洲國の新國是決定前に地方行政機構を刷新せんとする重大會議として注目されて居る吉林省參事官會議は愈よ今十六日午前九時會場實驗小學校講堂に於て開會され、出席者は百八十名、會議は先づ議長たる總務廳長の挨拶により始まり省長の訓示、中央各機關の指示、省公署各廳長の注意、列席各機關の意見開陳、縣參事官代表の答辭の順序により進められ午後四時閉會した、十七日は各縣參事官の管內事情報告及希望意見開陳等本格的會議に移る筈である

北鐵交渉再開は遲くも廿五日前後 廣田外相ユ大使を招致し打合せを遂ぐ

〔東京國通〕廣田外相は十五日午後四時半外務省にユレニエフ駐日大使を招致し、ソヴイエートの北鐵從業員の釋放に關し去ル八日同大使よりの懇請に從ひ滿洲國に傳達した處滿洲國檢察當局の取調べも一段落し近日釋放することに決定した由である、依つて此際體面問題に拘泥することなく北鐵交渉を即開せんことを斡旋者の立場として切望する旨述べたに對し、ユレニエフ大使は再開の意有るを答へ、次で交渉再開期日、手續方法に關し隔意無き意見の交換を爲したが交渉は遲くも二十五日頃迄には開催されるものと觀られてゐる

交渉の成否は兩者の互讓に

〔東京國通〕再開される北鐵交渉に於てはソ聯側も讓渡價格を國幣に基き新たに數字を提示し來る模樣であるが一方滿洲國側に於ては今日まで五千萬圓を以て最も合理的値段となして來たが北鐵從業員の退職資金其他相當考慮に入れて八千萬圓位迄は政治的妥協の餘地あるものゝ如く、要するに交渉の成否は一に兩者の政治的互讓に懸つてゐる

華北反蔣陣營と（三）岐路に立つ舊東北軍

張學良は十二月十四日伊太利ナポリを立つたが、學良の歸國に對しては舊派並に下級官兵の多數はこれにより舊東北軍の勢力を盛り返し幾月かに亘る缺餉も支給さるべしとして歡迎してゐるが、稍世界の大勢に通じ日本軍の實力を知つてゐる新派の人には頭のよい丈に日本が飽くまで敵視する張學良の歸來を迎へる事は華北を再び混亂に陷れる結局東北軍の破滅を招くものとして苦悶の色を見せてゐるだが舊主張學良が折角歸つて來るのだから兎も角張の歸國を待ち其の決心を聽いた上でその態度を決し東北軍の生きる途を講ずるもおそからずと做してゐる、而して新派の恐れるところは張學良の上海着後蔣介石の懷柔するところとなつて南京政府の先棒を勤め東北軍の南方移駐を承諾し福建乃至江西の戰線に使はれるのではないか、そうすれば東北軍は致命的打擊を受けて自滅する外ないと言ふのである、或は華北の事情を知らない張學良は長い外遊に於て英米方面の使嗾を受け宋子文と通謀して抗日反蔣の陰謀に加擔するのではないか、斯くすれば唯に東北軍の破滅であるばかりでなく永久に墳墓の地たる滿洲の地を踏む事の出來ない悲しむべき境遇に陷るのであつて、出來る事なら張學良の歸國を香港に待ち受け彼に華北の大勢を說いて其の眞意を質さうと言ふのである、萬一張學良にして若し彼等の希望を容れ、反蔣のために蹶起するに於ては飛行機で之を保定に迎へ彼を頭首に仰ぐべく若し拒絶すれば新派從來の計畫によつて結束して反蔣の一路に邁進すべしと言ふのが新派の大勢だと言はれてゐる、それにしても問題は學良が親日に轉向した場合の日滿國の態度であるが、彼等の或るものは日本の諒解を得る事は不可能であると始めから悲觀的言辭を弄し、或るものは學良自ら日本に赴き日本の諒解を得べしとなし、或るものは又日本の諒解如何に拘らず、作霖以來譜代の臣として兎も角學良を推戴すべしと言ひ又或るものはこの際斷然吳佩孚若しくは宣統帝を推戴して日滿兩國の援助をこふべしとなす等、舊東北軍の多數は張學良の歸朝を前にして全く岐路に立ち亡羊の歎見るも氣の毒な狀態にある

華北に於ける反蔣三陣營の相互關係は如何と言ふに舊東北軍が華北の主人公となり平津に蟠居すると言ふ事は東北軍從來の遣り口によりて總ての樞要なる位地を東北人で占めると言ふ事であつて、これは西北軍乃至于學忠派の欲するところでなく西北軍の華北支配は、又他の二者の喜ぶところでないのであつて反蔣の一事は一致しても利害自ら異るものがある、されば蔣介石打倒に成功したとしても最後までその勢力を保有するものが最後の勝利を收め華北の實權を掌握する事になるのであつてこの際自ら起つて他人の爲に火中の栗を拾ふを敢てしない所以である、出來得べくんば他の二者をして戰はしめ己れ漁夫の利を占めんと欲するものであつて華北が反蔣の空氣特に濃厚なるに反し敢し反中央の火蓋を切らんとするものがない所以も茲に存するのである

最近東北軍は兵士の逃亡するもの相次ぐ有樣であるが、これは其の郷里である滿洲國が漸く建設時代に入るも其の親戚故舊が王道の餘澤に潤ひ生活が安定して行くのに自己の屬する東北軍の現狀は日に非にして不安焦燥の結果、郷里に向つて逃亡するのであつて、其の中には下級軍官も相當交つてゐると言はれてゐる、されば東北將領にして何時までも小田原評定に時日を空費し荏苒決せざるに於ては結局自滅を招く外はないのであつて早きに於て決心の臍を固め軍の出路を講ぜざるを得ない瀬戶際に置かれてゐるのである

問題の學良の歸着が香港であるとも上海であるとも或は威海衞であるとも噂されてゐるが若し張學良の決心が香港に歸着滯在するにありとせば彼の意圖は宋子文との間に一脈通ずるところがあると想像すべく彼の態度は反蔣と共に反日であることは勿論である、上海に歸着せば南昌に赴いて蔣介石を訪ふべく對西南派に苦しんでゐる、蔣としては極力張學良の蹶起を慫慂し學良を再び陸海空軍副司令乃至航空署長の要職に据へて舊東北軍を率し江西若しくは浙江の戰線に向はしむべくこの場合東北軍の新派が蔣介石の頤使に甘んずるや否や甚だ疑問である、而して若し張の歸着が威海衞若しくは北支であるとすれば彼に反蔣親日の決心がついたと見て誤りなかるべく、孰れにしても張學良の歸國を機會に舊東北軍の陣營に一大變化が起るものと豫測されてゐるのである

執政の御仁慈 義手義足を購入して戰傷兵に御下賜

溥執政には昨秋以來石丸侍從武官を各地に特派され、入院加療中の滿洲國軍傷病兵を慰問せしめられてゐたが、今回更に名譽の戰傷により手足を切斷せる患者に對し御手許金中より義手義足を購入の上、下賜される思召あり、近く何等かの御沙汰がある筈でこの旨を聞きつたへた滿洲國傷病兵は重ねぐ執政の御仁慈に痛く感激して居る

小川平吉氏等の控訴公判開廷さる

〔東京國通〕小川平吉氏外十三名の五私鐵疑獄控訴公判は十五日午前十時半開廷され小林裁判長は小川氏の訊問を開始し、先づその財產狀態を委しく調べ、小川は政黨政治的排擊が余等を訴へたと激昂し、午後三時四十分閉廷した

膨れゆく新京

各區の發展から根本的に地域變更 九區制に改められるか 當局で案を練る

新京地方事務所々管、新京區內の行政地域は現在驛前から第一區、第二區と順次城內方面に向つて橫線に延び、それに鐵道北を加へて全部で六區に分れてゐるが最近の首都新京の急激なる人口增加は新たに滿鐵社宅街および舊競馬場跡のダイヤ街の現出を始め更に新發屯にまで膨脹したのみならず

【各區】とも大異狀を來たし、現在の地域のまゝでは到底所期の目的を達することが出來ず、幾多行政上に支障を生ぜしめるものがあるので、これが區の增加をはかるとゝもに此際各區地域の大變更をなし根本的刷新を圖るべく目下地方事務所當局の手で研究中であり、當局者の私案としては滿鐵社宅街一區のほかなほ二區を增加して九區制度とし、なほ從來警官派出所管內と無關係に置かれてゐたのを

【全部】派出所管內制度に改めたらといふ意向を持してゐるが何にしろ急激の人口增加による區地域の變更は當然の結果であり、遲くも本年度中には決定實施を見るはずである

中央大街三十六番地鐵工職王立堂方附近に差し懸るや右王立堂方より擧動不審の一滿人が突如逃走を企んとせるを發見したので直ちに追跡、中央大街池田醫園前に於て格鬪の末遂に逮捕した、取調べの結果梨樹縣第三區[illegible]生れ曹水和（二十）と判明、王立堂の就寢中を奇貨として同家に侵入し衣類數點を竊取逃走せんとせるを王に發見された處附近に在りし棍棒にて王を毆打負傷せしめ再び逃走せんとするを逮捕されたもので餘罪あるものゝ如く嚴重取調中

都市膨脹に鑑み土木係建築係を分別に設置 地方事務所の改革

〔大連國通〕新京、奉天、鞍山を中心とする急速なる發展をみつゝある主要都市に於ては土木建築界の活況は素晴らしいものであるが、滿鐵地方部では右新京奉天各地方事務所々管の土木建築事業大膨脹による事務管掌繁忙に鑑み從來の工事係を左の如く土木係と建築係に分別し夫々係長の決定を見、鞍山には工事係を新設した

奉天地方事務所
土木係長 角田勝三郎氏
建築係長 廣　勤氏
新京地方事務所長
土木係長 小林廣次氏
建築係長 奥津五郎氏
鞍山地方事務所工事係長は目下人選中で當分の間地方係長松田進氏の兼任となつた

偽造銀貨 巧妙極まる

四平街中央大街竹村吳服店員近藤米吉（二三）君は去る十四日午後六時三十分頃四平街劇場入場券販賣所に於て一圓札二枚を差出し入場券二枚買求の其の釣錢として五十錢銀貨一枚十錢三枚を貰ひ其の儘財布に納め翌十五日取り出したる際僞造と氣付き直ちに四平街署に屆出たが精密なる僞造五十錢銀貨で本署ではこれが鑑定の爲め右銀貨を關東廳に送付した

乘合自動車吉林へも運轉 三月一日から實施

鐵路總局では、滿洲の產業開發即治安確立のモツトーのもとに、全國の鐵道網完成を急ぐと共に、各地との連絡自動車路線の擴張を行ひつゝあつたが、いよく新京より農安を經て扶余に至る線を二月一日から乘合自動車を運轉することゝなつたが、新京扶餘間は乘合自動車二台、トラツク二台警備車一台、新京吉林間は乘合自動車四台、トラツク二台警備車二台が往復し、貨客の便を圖ることゝなつた

曲者捕る 四平街

（支局發）十五日正午頃市內警邏中の四平街署員、古賀巡査

体操音樂講習會

來る三十一日より向ふ一週間四平街公學校に於て四洮鐵路總局關係の各學校敎員參集体操音樂の講習會を開催すると

兒童氷上競技

來る二十七日四平街公學校では同校庭に於て兒童スケート競技會を開催すると

滿洲國辭令

黑龍江省公署秘書官 路之瑩
任黑龍江省公署參事官（秘書長）
敍簡任二等
陳紫瀾
任黑龍江公署參事官
敍簡任二等

又も電々會社に「非難の聲ごうごう」

今度はサービス問題から　日滿合辦事業の前途に暗影

昨年九月一日成立した滿洲電信電話會社はその後電報料金の高率改正で、全滿はもとより內地各商工會議所の反對論は鼎の沸くが如く沸騰し、未だその余燼おさまらぬのに、最近復々電々會社のサービス問題でい關係業者の憤滿を買ひ、非難の聲が勃湃として興つて來た

發信せずに電報料は沒收　通知もせぬ當局者

最近、滿洲國の重大國策發表が切迫するにつれ新聞、通信社の新聞電報が續々發信されつゝあるが、三百字とか五百字とか長文の電報を寄託した場合、その中に二字余りの禁止事項に亘るの文字があると同局に出張せる關東總檢閱官が右電報を沒收し、發信者に對しては電報發信不能の如何も通告せず料金は規定通り支拂はしめてゐるが、電報料は發信を寄託され、それを發信者の指定せる

『受信』者に送信を完了して、初めて責任を終り受納すべきで若し發信不能の場合は寄託行爲を完了して居らぬため電報料金は拂ひ戻すべきであるが現在の電々會社では發信の如何に拘わず一度受付けたものは料金をとることに規定され又發信不能であるか否かを判斷する權能もなく、民間會社の弱點を遺憾なく暴露し一面發信不能の通告を發信者にせぬなどの官僚的欠點もあり、民間會社となつてサービスを向上せしむると

『聲明』した總裁の聲明と相反する結果となつてゐる、然も新聞電報は國際スパイが使用する通信と異り、社會の公用のための電報であつて從來の官營時代へる如く發信不能の場合はそれを通告して受付を拒否し、料金もとらぬのが正當であるべきを不當利得をしてゐるわけで、今や關係者間に非難囂々として起りつゝある

耳を聾する電話故障頻々　不備と缺陷を暴露

一方電話は最近頗る故障混線多く甚しきは耳を聾する如き音響のため送話者や受信者を驚愕させ

『聽取』不能に陷らしめてゐるが、右について電話局長は實は電話局長であり乍ら私は單に電話にのみ監督權あり、工事、試驗、修理は工務所の管掌で電話局長に何等の權限がない、そのため双方の連絡がうまく行かぬためで私としても出來るだけ努力して双方の連絡を圓滑に進め萬全を期してゐます

と語り、電々會社の各科が分掌獨立した結果に外ならず、こゝにも電々會社の不備欠陷が暴露し會社創立當時從業員が反對した經驗なき事務官の入社がこの結果を來したもので電報問題と共に

『民營』會社の官僚化、サービスの不善の聲全滿に張り民營會社に委任經營を與へた意義を完全に失ふに至り、今や民衆は從來通りの官營に復活し局內の連絡統一を要望するに至り、日滿合辦事業の前途に暗影を投ずるに至つた

受付けたら返さぬが規定　當局者はかくいふ

右につき電報局長は「私の方は民營會社であつて受付けた以上に、檢閱官が檢閱の上處分するものに對して何等發言も干渉も出來ません、受付けた電報に對しては料金は受納し又その電報は返さぬことに規定されてなつてゐます」と答へ發信不能の電報をも受付けて料金を取る頗る矛盾したものとなり、又發信不能のため止おきの通知もせぬわけで電々會社成立前の官營時代にも又電々會社成立後の十月二日にも電報を返戻して料金を受納せざりし前例から見て最近のサービスの惡化は頗る甚しく通信業者のみでなく電々會社攻擊の聲は一般民衆にまで波及せんとしてゐる

塵の都に ― 眼科や耳鼻科の患者が激增　滿洲人の利用も殖えて新京醫院大繁昌

本年の四月一日から十二月末までの間に滿鐵病院で治療をうけた患者は日本人男七四、三二一人女六九、八〇二人▲朝鮮人男一、七五二人、女四、三四四人▲滿洲人男一四、五〇七人、女六、七五三人▲外人、男四九六人、女四二六人計十七萬二千三百一人で前年同期よりも四萬二千六百五十三人の

『激增』であるがこれは人口の增加によるものでうち最も多いのは產婦人科二八、八八八人▲外科二七、六三六人▲眼科二五三一九人▲耳鼻咽喉科二五二一三人で人口の割合に眼科や耳鼻咽喉科に屬する患者の多いのは新京が塵が多いためであり傳染病は赤痢、チブス、猩紅熱が多く一般患者もこれら傳染病患者の多く

『發生』する四月ごろから九月ごろまでが一番多いやうである、尚右のうち入院患者は七萬四千九百五十三人、うち三等が五萬千六百四十三人で大部分をしめてゐる

京中の寄宿舍　四月謝公館跡へ

現在新京中學校では商業學校寄宿舍に寄宿生を入れてゐるがこれでは不便で仕樣がないので適當な家をさき〴〵に調査病院橫元謝公館を物色中だつたがこのほど空家になつたので同家を借りて二十三名の寄宿生をこゝに入れやうと學校側では交渉中で何分改築に多大の費用を要するのですぐといふ譯にゆかず來る四月新學期とともに移ることに決定した

洗染組合發展計畫

既報、新京洗染業組合側では既定方針通りいよ〳〵同業者の結束を固ふしてまづ組合未加入者を出來るだけ組合に加入してもらつて新京同業者は擧つて技術向上發展の研究を重ねるとゝもに集配の確實敏速をモットーに顧客本位に努力して顧客に滿足をあたへること、なほ新京同業者代表二人は十六日夜打合せをしたうへ十七日奉天大連に赴き將來同業者發展のため對々マホトル束を講ずること

日滿女學生が美はしい握手　平和鄕の乙女達を迎へて　けふ新京高女で

各方面から異常な興味を以て待望されてゐる京西の平和鄕小八家子女學生新京見學團一行十七名は愈よ十六日午後二時着京、協和會中央事務局の斡旋により執政府、國務院、國都建設局、および關東軍司令部その他を訪問し十七日には新京商業、女學校に於て滿日女學生の交歡會に臨み午後七時からラヂオを通じて全滿および日本のラヂオファンに御目見へする豫定であるが、一行在京中の日程左の如し

▲十六日　新京着、映畫會（於中央事務局會議室）

▲十七日　中央銀行、文教部、國都建設局（講話、建設狀況）關東軍司令部（第四課長訓辭）新京高等女學校（交歡會）情報處長招待會（丟興樓）ラヂオ放送

▲十八日　執政府拜觀（大禮官訓辭）國務院（國務總理拜謁）情報處（紀念撮影）中央事務局、離京

新京高等女學校交歡會順序

十七日午後二時から同校講堂で開催されるが左の順序で行はれる

開會の辭（情報處）挨拶（女學校側）同（小八家子側）代表握手、頌歌（小八家子側）唱歌（女學校側）校長挨拶、映畫會（滿鐵映畫）閉會の辭（協和會）

家庭生活改善　婦人たちが集つて　座談に花が咲く

既報、滿鐵地方課主催の家庭生活改善座談會は新京地方事務所々長室で十六日午後一時から中根地方社會係主任を中心に青木、落田、岩坂、赤瀨、溜富その他十八名の婦人出席あり、まづ野村社會主事から開會の辭に引續いて中根氏を紹介し中根氏から座談會を各沿線で開くに至つた本社の目的を披瀝して各夫人の滿洲における家庭生活改善の方法につき忌憚なき意見を述べるやう挨拶があつた、最初溜田夫人から家庭生活の中心は敬神精神の向上の必要ありとの意見を述べ極々意見の交換あり稻葉庶務係長からも社宅の神棚設計方についても本社側へ意見書を出して實現を引扱ふべく意見を述べた、その他日滿提携方法精神修養などにつき意見を交換して四時半終了したが、なほ同夜は西廣場小學校講堂で中根氏から「我國現下の情勢と婦人の覺悟」の演題で半時間余に亘り講演があり引續き映畫會が催された

下宿業組合　新役員を決定

新京下宿業組合では十六日午後一時から梅ケ枝町すし竹本店で組合總會並に新年宴會を催した、開會と同時に畑瀨組合長挨拶をなし、續いて昭和八年度における組合の業績並に會計報告ののち役員選擧を行ひ續いて井上保安主任から有益な訓辭があり終つて宴に移り盛會裡に午後四時閉會したなほ役員は左の如くである

組合長　畑瀨友策（滿日館）
役員　齊藤豐（丸玉館）
同　山田夏子（花屋）
同　中西きぬ（中村屋）
同　中島ナウ（新京館）
同　灰田靜（山形屋）

普通學校入學受付

普通學校ではいよ〳〵二月一日から昭和九年度入學受附けを始めるが定員は約二百名の豫定である入學願ひの際は居留民會の居住證明書と印鑑をもつて普通學校の受附けに屆けること、なほ現在同校在校兒童數は六百五十名で四月には八百五十名に增加の豫定である

京圖線復舊

既報、十五日京圖線轉覆事故は十六日午前十一時復舊し第五十一、五十二兩列車の現場徒步連絡は取り止め、十六日直通運轉を見た

小林參謀　日本へ出張

關東軍參謀小林少佐は中央部其他と事務打合せのため十六日午後十時發列車で日本に向つた、往復共朝鮮經由で歸任は本月末頃の豫定である

錦西婦人協會設立

錦西婦人協會の設立を來る二十三日錦縣青年會館講堂で擧行關係婦人代表七十名が出席する

居住消息

▲古谷寅吉氏（廣島縣）開原から日本橋通り八番地へ
▲山口初次郎氏（熊本縣）大連から老松町一番地へ
▲元木政吉氏（德島縣）中央通り三十六番地へ
▲增井壯氏（宮崎縣）范家屯から永樂町三丁目十六番地へ
▲引地寅治郎氏（宮城縣）永樂町三丁目二十一番地へ

轉居

▲中澤常吉氏　住吉町三丁目二番地から祝町一丁目二番地へ
▲河西忠春氏　東三條通り四十四番地から敷島通り二百四十五番地へ
▲乾次郎氏　吉野町一丁目から錦町四丁目五號ノ一へ
▲太田四郎氏　和泉町一丁目十三號から露月町二丁目四十號へ
▲奧村榮氏　平安町二丁目七號から平安町三丁目五號ノ六へ
▲坪嵐信人氏　三笠町四丁目二十六番地から富士町二丁目八番地ノ二へ
▲木戶信治氏　貨物事務合宿所から和泉町一丁目四號ノ一へ
▲石原紳締氏　和泉町二丁目から露月町益濟寮へ
▲神田昌房氏　益濟寮から盤町三丁目十一號へ
▲兵頭清男氏　三笠町二丁目十五番地から永樂町一丁目二番地ノ四へ
▲上山乾氏　吉野町五丁目番地から吉野町一丁目六番地へ
▲花園町三丁目三番地三十九號ノ二山田要氏舟男勝ん五日出生

天氣と氣温

十七日の天氣西の風晴、十六日の氣温最高零下十一度、最低二十一度二

石炭斤量問題に更に新波紋を描出

當日のハカリは不正だつたと組合側で敦まく

新京石炭商組合の斤量胡麻化し事件は偶然新京市民に一大センセーションを捲起したが原因に就ては目下新京署保安係で峻嚴な取調べを進めてゐる矢先組合側で原因を調査したところ意外な事件が發見され更に事件に大波紋を描くことになつた、即ち組合の云分では十五日午前十時から富士町派出所で行つた計器が全く不正であつたといふのであるがこれ又眞か僞か　眞だとすれば警察の大失態であり、また僞だとすれば組合が更に大失態の上塗りとなるものであり、何れにしても一般から興味をもつて見られてゐる

そんな事はあつたものか　新京署松藤警部補談

右に就新京署保安係松藤警部補は語る

けふ（十六日）新京石炭商組合から十五日富士町派出所で行つた斤量が不正であつた旨の通知があつたため當署としても斤量に就き調べるとバカリの一部が破損されてゐるを發見されたがその破損の個所が疑はれるものがあるを認めた、もし當日の斤量に不審があるなれば組合側は當署に通知をなし關者並に當日の立會者へカリの所有者が立會の下に調べるが至當であるに何故當署に通知なく獨自でやつたか疑はれる、なほ斤量檢査は富士町派出所のみでなく大和通派出所でもやつたがいづれも不足を生じてゐることであるが組合側の言ふことは信じられない、また富士町派出所の檢査の際組合からは眞田氏が立會つてゐるから不正な斤量なればその時發見される筈だ

聲明書を發表する　組合で敦まく

右に就き石炭商組合では語る

當日（十五日）富士町派出所で使用した斤量が不正であることを發見しました組合としては何等の不正事件はありませんこの問題に對しては組合から改めて聲明を發表します

內地との電報も超スピードに　無電台の完成で

目下完成を急ぎつゝある新京無電台（受信所猛家屯送信所寬城子）は二月中旬完成することになつたがその結果歐米方面との通信を開始すると共に現在電報は東京が奉天と三十分毎の交互通信を行ひ大阪も又回線が少く頗る輻輳し甚しきは至急電報でも新京東京間で七時間を要する場合あり無電台完成と共に對內地通信も行ふことゝなつたが、その結果僅々三十分間で通信出來ることゝなり、この無電台完成は劃期的スピードアップと云ふべきである

入學屆出早く　締切は迫る

昭和九年四月入學兒童の入學受附けは殘すところ五日即ち一月廿日までゞあるが地方事務所で今年入學兒童豫想數四百に對して十六日午後四時までの受附數は僅か二百七十五名その內譯は室町小學校の分は男兒五十九名い女兒八十五名、西廣場分男兒六十六名、女兒四十六名で豫想數のわづか八分の五にしか達しないので地方事務所受付では早く願出ることを要望してゐる、なほ現在幼稚園に在學中の者でも小學に入學するときは更めて願書を出す必要があるからご注意、願出の際に戶籍抄本印鑑持參を要する

基督教女子青年會

健かな步み

新に技藝科や補習科も設置　日曜學校で計畫中

昨年十一月十九日中央通り日本基督教會で發會式をあげたばかりの新京基督教會女子青年會では發會後日なほ淺いにも拘らず着々發會當時聲明した事項について實行しつゝあり、相當の效果を見せてゐるが、中でも日曜學校の開校、宿舍施設など最も有意義なものとされてゐる、日曜學校および宿舍は東四條通愛國旅館の階下全部でとても廣大なもので、いづれも少額で同旅館から借されたものである

日曜學校は日本組合教會の黑田實氏たちと力を合して舊臘二十四日即ちクリスマス前夜に開校されすでに二十四五名の生徒あり、後まだ五十名位の收容力があるので小學兒童の入學を大歡迎してゐるい　每日曜日午前九時から始まり禮拜讃美歌祈禱中心として信仰に重きをおき宗教々育で樂しい半日を有意義に暮し正午までで終了、月謝は勿論不要で入學も隨時に願書は同學校內に用意してあるが、近々のうちに技藝科、補習科なども設けて技藝科では日本刺繡、フランス刺繡、編物などを敎へ補習科では中等學生などに入學準備等の課目を授けることゝなつてゐる、なほ日滿語科新設の計畫をも立てゝゐる

婦人の宿舍　お困りの方へ

基督教會女子青年會宿舍も日曜學校と同じ東四條通り愛國旅館階下に置かれ現在利用者が十二名位あつてなほ廿名位は大丈夫入れる、間數が八疊七、六疊一、四疊一、應接室兼讀書室、招集場として洋室一間あり、暖房裝置にはスチームが通り風呂も大きな風呂が每晚湧かしてありこれで間代が八疊の甲四十一圓、乙室三十九圓、丙室三十七圓、丁室三十六圓、六疊二十七圓、四疊十八圓、地下室八疊十八圓それに二食付きで食費が十五圓だから八疊に三人入つたら二十八圓六十六錢、四人なら二十五圓二十五錢になる、六疊丁室に三人入れば二十七圓四人で二十四圓、六疊に二人で二十八圓五十錢、三人で廿四圓で二十四圓といふ勘定、斯樣に二、三人あるひは四人づゝ入れば二十四、五圓で寢て喰つてお湯にも入れるわけで非常に便宜をあたへてある、若し部屋にお困りの婦人があるなら早く申込れたいと

滿洲に於ける軍用鳩に就て（二）

陸軍步兵大尉　柿本貫一

奉天から其東北にある海龍に通ずる瀋海鐵道沿線に匪賊の跳梁が甚しく附近住民は全く悲慘なる狀況に陷りましたので鐵嶺守備隊から一支隊が山城鎭に出動して討伐並に治安の維持に當ることになりました當時支隊と守備隊との通信は全く〃に依るより外に手段がなかつたのであります。六月廿日の午後支隊は山城鎭附近で可成の激戰を交へて匪賊を潰走せしめましたが彈藥の缺乏を告げ至急補給を要しました。此情況を鐵嶺守備隊本部に報告すべく放たれた軍用〃は鐵嶺の五十六號〃で飛翔途中右腿に一彈の貫通銃創を負ひつつ折柄の炎天をものともせず百八十粁餘りを翔破して最も迅速に其任務を達成致しました

私は本年の八月着任早々二、三の獨立守備隊の鳩舍を見學に參りまして大いに感心致した事がありますそれは何の守備隊に參りましても〃舍の近くには甚だ御粗末乍ら必ず鳩魂塔が建てられてあり其前には必ず何かお供へがしてありました。生物を使ふものは必ずこの心がなくてはならぬ獨立守備隊軍用〃の働くも所以ある哉と感心致した次第であります。次には稍々專門的に亘りますが内地と滿洲とに於ける〃の飼育訓練上の差異に就て少しく申上げて見たいと思ひます

第一は氣候風土特に酷寒に因る差異であります。只今も此處新京では零下廿四、五度の寒さであります此寒さに對しまして先づ〃舍は側壁や窓を二重にする必要がありますと申しましても特別に暖房裝置をする必要は御座いません、鳩舍の中が零下に下りまするから水を與へるにはお湯にして與へます水浴は無論出來ません、繁殖の爲に雌雄を配合致しますには所によつて多少の差異はありませうが新京附近より以北では例年三月中旬頃になる樣であります、繁殖率は無精卵が比較的多くて内地よりずつと惡いと言ふことであります、又繁殖は九月の初めに中止致しませぬと巣立した仔〃が寒さの爲十分發育しない事になります。訓練上寒さに對する影響を申述べますと、滿洲產の氣候風土に慣れた〃は零下三十度位迄大した影響はなく夫以下になりますと大分能力が低下する樣であります。内地より來たばかりで滿洲の氣候風土に慣れない〃は零下廿度位で既に能力が低下すると言はれて居ります只今私の所に今年の九月中旬頃内地から來た〃が澤山居りますが九月の中頃でも既に内地と滿洲とでは七分溫度が違ひますので丁度其頃〃は翼や体の毛の生え換る時季でありますので初めの一月位は可哀想な程元氣がありませんでした。近頃漸く元氣が恢復した樣に見受けられますが今年の冬は隨分弱ることだらうと察しられます、内地から滿洲に〃を持つて參りますには内地と滿洲と餘り氣溫に差のない五月頃から八月頃迄が最も適當ではないかと思はれます滿洲にも土〃が到る處に澤山居りまして内地と比較して多くとも決して少くはないと思はれます。鷹や隼等の害鳥は吉林、興安、熱河省及奉天省東南方地區等の山林地帶には比較的多い樣であります。〃の飼料（たべ物）は内地と全く同じ物であります。質は少し惡い樣に思ひますが値段は内地の約半額位で求められます、但し玄米は割合に高く又所に依つては全くない所もあります。ボーレー末も海に惠まれない滿洲では調辨困難であります

病氣は一般に少く殊に傳染病は殆んどない樣な狀態であります。冬脚を凍傷に犯される〃も出來ますがこれは少しく管理上注意を致しますれば大した害もありません

氣候風土の影響につきましては之位に止めまして次には地形の影響に就て申述べます

滿洲の地形は一般に内地の樣に錯雜して居りません、前にも申上ました吉林省、興安省熱河省及奉天省東南方地區の外は所謂一望千里の大平野であります、此大平野が〃の訓練即ち〃の巣に歸る能力に如何なる影響を及ぼすかと言ふことは一寸考へますとよく遠方が見えますから非常に歸り易い樣にも思はれますがそれは近い所丈けで遠くなれば何處迄行つても同じ地形でちつとも目標になるものがありませんから却つて歸り難いのではないかと思はれまして一概に訓練が容易であるとは斷定出來ません、將來研究を要することと思ひます

ラヂオ欄

十七日（水曜日）新京

午前十一時〇五分　講演（全滿並日本全國中繼）皇帝を慰問して　慰問特使　大角海軍

午後五時　〇分　子供の時間（滿語）　松岡正男

一、唱歌、滿洲國々歌　新京特別市第十一小學校三年二期生

同　米玉貞　潘玉蓮

二、講話、對小朋友們說幾句話　同　潘玉蓮

同　五時三〇分　ニュース（英語）

同　五時四〇分　ニュース（露語）

同　五時五〇分　ニュース（鮮語）

同　六時　〇分　ニュース（東京より）

同　六時二〇分　語學講座（滿語）講師　高宮盛逸

同　六時四〇分　語學講座（日語）講師　植松金枝

同　七時　〇分　講演（滿語）

一、協和　小八家子　曹鹿芬

二、王道政治　康明傑

唱歌

一、小八家子村歌

二、賀新年歌

三、讃孔子歌

四、痛海歌

五、立志歌

六、歡迎大主教高主教歌

七、玖魂歌

八、春景歌

九、彌撒之歌

十、和番歌（獨唱）　夏俊峰

同　八時　〇分　ニュース　プログラム豫告（滿語）

同　八時三〇分　時報　ニュース（東京より）

同　八時四五分　氣象豫報　プログラム豫告

同　九時　〇分　演藝（滿語）新京戲院より中繼

鮮魚相場

品名	値	品名	値
活鯛	一一〇	氷鯛	六五
連子	三七	廿鯛	五七
小鯛	四六	ブリ	三六
サハラ	六七	スヽキ	九
サバ	二三	メダカレ	五六
ボラ	二九	コチ	一〇
キス	二三	マナカツ	三九
ハゲ	三四	サヨイ	三五
カナガシラ	一六	甲イカ	三〇
水イカ	三〇	車エビ	一二一
カニ	二四	アナゴ	一五
貝柱	二七	ハマグリ	一三
カマボコ	二三	赤貝	七
サク	五七	ホシカレ	二三

武藝の嗜み（下）

玉村柳泊樣　御主親鍛

「何だく〃どうしたんだ」「ヤー熊さんか」「熊さん……人を馬鹿に致すものでない、先生と云へ、先生と申せ」「先生？ホー熊先生」「熊だけ餘計だ、たゞ先生と申せ」「イヤ何事ぢや」「氣取つてやアがる、何だつて醉つ拂ひだ」「ハヽア、此邊の亭主が慾張つて正月匆々店を出すから、醉つ拂ひに飛び込まれたのであらう。居直つて動かぬとでも申すのか」「ナーニ醉ッ拂ひの武士が、店の若い奴に難癖をつけて、刀を拔いて暴れたんだ」「ウム、シテ何うした」「若い奴が敏捷いんだ、土藏の中へ逃げ込んだ、それを武士が追ッ驅けて土藏の中へ入つたんだ、スルと若い奴が二階の扉前口から飛び出しやがつて、戶を閉めちまつて、それから武士が下りて來て下から出ようてえ所を皆して下の戶を閉ちまつたんだ」「成る程旨く遣つた事である」「武士だつて、あゝして閉ち込められた日にや、イクラ吐鳴つても喚いても出られつこはねえ、多分今に木乃伊になる筈だ」「木乃伊にする には大分日數が掛る、左樣の氣の長い事は申して居れまい、諾し、拙者がその盜賊を召捕つて異れる、イヤ手捕りに致す」「盜賊ぢやねえ、醉ッ拂ひだ」「イヤ何でも構はぬ、土藏へ入つた以上は賊も同樣である」「さうかな」「さうだとも、宜しい拙者が召捕つて遣はさう」「危ねえから止しにしな」「歌つて居れ……コレく〃亭主、許せよ」「へつ……、何だい熊さんぢやねえか、冗談ぢやないよ、今取り込んでるんだから」「委細は聽らず承はつた、心配いたすな、拙者が土藏の中の盜賊を召捕つて遣はす、安心いたせ」「餘計の事アしなくつても宜いと」「イヤ左に非ず、それに就いて濫かい飯を出すやう」「飯かい、飯なら食ひねえ」「味噌汁は如何ぢや」「味噌汁もあらア」「然らば味噌汁で飯といたす」

先生うそばつかり!!

「冗談ぢやねえぞ」「冗談に非ず、之を武藝の嗜みと申す。却々二杯では止めぬぞ、十二分に腹を拵ねねば職さはならぬ之が武藝の……ト、さて先づ以て腰を十字に綾取る、この腰を肌身放さず所持なすところが武藝の嗜み、お次には手拭取つて後入卷…」「コレく〃熊公、狂人染みた眞似は止しにしろよ」「決して心配には及ばぬ、そこで俵を二俵持つて參れ」「俵、俵をどうするんだ」「何でも宜い、持つて參れ、之が事……エー眞に奇妙、武藝の嗜みで……持つて來たか、よしく〃、此方へ出せ」「變な事をして異れるなよ、どうするんだ」「サ、宜いか、一人が戶をあける、途端に此の俵を一ッ土藏の中へポンと抛り込む、宜いか、先方が食ひ醉つた上に血迷つてるから人間だと思つてヤッと斬り下す……オヤオヤ斬り下さねえナ、先生が言つたなア、斬り下した其の虛に附け入り飛び込んで籠手を取つて肩に引つ擔ぎ、エイと許り敷石落し、頭顛倒と投げ出す、ト來る筈だが、ヘテ妙だナ」と熊五郎、藏の中へ間拔けに聞こえるやうな大きな聲で謳言つてしまつた。「それぢやモウ一俵、遣り直しに中へ抛り込む……オヤ未だ斬り下さねえナ、さういふ譯では無かつたが」と熊さん、首を土藏の中へニューッと入れて覗いた途端に中の醉つたんぼの武士がエイと斬り下したから堪らない、熊さんの首はコロくと轉がつて「先生噓ばかつかり」（完）

日本の聖女

生田葵　南部龍平畫

二四

火事場の異變（四）

荷車の上には僅に短い材木が六七本載せてある限りなのに、後押しとも見ゆる若者が三人、しかも酒に醉つた様子で岸田の行手を遮つて無暗矢鱈に悪戯をするのであつた。

「こら、何をする。前に人が通るのが解らないのか」

岸田は後押しにゐる人足體の若者三人に向つて怒鳴つた。

それにも係はらず若者三人は顔を伏せ、又も車を前に押やる力を加へたので、車の輪はゴロ／＼と前へと動き出し、其處に突立つてゐた岸田は一溜りもなく地上へころがされて了つた。

さうして危く車輪に懸けられやうとしたが、幸ひにも、腰にさした刀が、車輪の間にはさまつたので、やうやくのこと、難を免れ得た。

「こら、車を前へ、戻さぬか……。」

倒れたはずみに顔をすりむいた岸田は、車の下でわめいてゐた。

—

その時であつた彼方の數之丞のそばへ町人態の男が走り寄つて手にした何か書かれてある紙片を手渡した。

受取つた數之丞は、それを讀むと、その町人體の男と一緒に急ぎ足に歩き出し、岸田數之丞が、やつと車の下から這ひ出し、立上る頃には、もう二條通りを東へ曲つてゐた。

「南無三、見失つたか」

岸田はそれと氣付くと、前にゐる荷車や三人の醉漢を叱りつけるのも忘れて、片足飛んだ草履を穿くのももどかし氣に、數之丞を追つて驅出した。

その姿を見送つた老人の荷車曳きと、醉漢達三人は、互に顔を見合して、細く結び合ふと、以前來た横町へと、忽ち姿を消して了つた。

二條通りを東へ曲つた數之丞と町人體の男は町の中程にある駕籠屋へと入つて行つた。

然うして寺町廣小路迄急いでくれと命じた。

無論駕籠の垂れは、降ろさした……。

然うして擔夫が威勢よく街中へと驅出すと、岸田がせか／＼した足取りで、キヨロ／＼その邊を見廻しながら駕籠側を通り過ぎて行くのを數之丞は駕籠の中で垂れの隙間から見てゐた。

數之丞と町人を乘せた二挺の駕籠は、堺町通りを北へと動いて行く。

星殿の宅は目と鼻の先きではあるが、此邊の町の上でうろ／＼してゐては危險だと思ひ、星殿を訪れることは後日のこととし、今日は雅倉良観公邸に参向しやうと數之丞は思慮を變へたのである。

數之丞と町人體の若者とを乘せた二挺の駕籠が、寺町通り仙洞御所の松並木の下へかゝると、數之丞は駕籠の中から聲を懸けて擔夫の足を止めた。

然うして二人とも降り立つと、擔夫へと價錢を渡して歸し。

「此處迄くれば最う大丈夫だ。此處でお別れしやう」

數之丞がいつた。

「さつき駕籠のわきをあの同心が通つたのを御覧になりましたか、だまし掠ちやあるまいし、お隣が隣町へ曲つたばかしで、一緒の駕籠に跳らうとはおもひ寄らなかつたと見え、すたこら／＼と往つて了ひました、あはゝゝゝゝ……」

町人風の若者は小氣味が好いと云ふやうに笑つた。

○……